

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社UBIC 上場取引所 東
 コード番号 2158 URL http://www.ubic.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 守本 正宏
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部財務担当部長 (氏名) 奥村 明博 (TEL) 03(5463)6344
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,756	153.6	1,862	291.5	1,826	340.3	1,044	199.3
23年3月期第3四半期	1,480	90.1	475	-	414	-	348	-

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,061百万円(131.5%) 23年3月期第3四半期 458百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	793 89	646 07
23年3月期第3四半期	300 19	222 59

(注) 平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株につき2株の分割で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,120	2,253	53.5
23年3月期	2,316	1,173	50.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,204百万円 23年3月期 1,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0 00	-	30 00	30 00
24年3月期	-	0 00	-		
24年3月期(予想)				25 00	25 00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2 平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株につき2株の分割で株式分割を行いました。そのため、平成24年3月期(予想)の期末配当金については、分割後の株式数を基に算出しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	70.1	1,950	83.4	1,900	87.7	1,100	50.9	836 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 、 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	1,315,436株	23年3月期	1,315,436株
24年3月期3Q	28株	23年3月期	28株
24年3月期3Q	1,315,408株	23年3月期3Q	1,162,292株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

当社は、平成23年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の発行株式数（普通株式）につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、それぞれ算出しております。なお、当該分割前の発行株式数（普通株式）は657,718株でございました。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関連する事項については、本日（平成24年2月10日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興に尽力する人々の努力により徐々に回復の兆しがみられるものの、欧州の財政危機による世界的な金融不安とそれに伴う歴史的円高の長期化などにより、先行きが不透明な情勢がまだまだ続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は米国司法省や欧州委員会によるカルテル調査の増加や、日本における知名度・信頼度の向上によって、受注は引き続き順調に推移致しました。また当社が掲げている、リーガルテクノロジー業界最大の市場である米国でのブランド確立に向けての活動も堅調に運び、UBIC North America, Inc.に（平成23年4月）設置致しましたアドバイザーボードを活用した米国大手弁護士事務所とのJoint Marketingの成果の一端として、米国弁護士からの紹介による案件が日本企業のみならず、韓国企業等グローバルに拡大し、受注するに至っております。

ここからは更なる飛躍を目指す為、米国でのブランド力強化に引き続き注力し、日々前進して参ります。

当第3四半期連結累計期間の主要な事業別の売上につきましては次のとおりであります。

eディスカバリ事業につきましては、前連結会計年度より継続して国際的行政調査の増加、調査対象の範囲の拡大に伴う大型案件及び中規模案件の受注、更に国際的コンプライアンスのサポート増加、「証拠閲覧サービス」の獲得により、売上高は3,586,563千円（前年同四半期比163.1%増）となりました。

リーガル/コンプライアンスプロフェッショナルサービス事業につきましては、連結子会社の売上が好調に推移し、売上高は168,422千円（前年同四半期比51.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,756,085千円（前年同四半期比153.6%増）、営業利益は1,862,226千円（前年同四半期比291.5%増）、経常利益は1,826,606千円（前年同四半期比340.3%増）、四半期純利益は1,044,286千円（前年同四半期比199.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて1,803,636千円増加し、4,120,448千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて1,355,762千円増加し、3,041,439千円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,648,948千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて447,874千円増加し、1,079,009千円となりました。これは主に有形・無形固定資産の増加303,145千円によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べて723,030千円増加し、1,866,695千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて463,556千円増加し、1,270,272千円となりました。これは主に短期借入金の増加137,500千円、未払法人税等の増加285,347千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて259,474千円増加し、596,423千円となりました。これは主に長期借入金の増加243,125千円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて1,080,606千円増加し、2,253,752千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,024,555千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月11日に公表いたしました平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年2月10日）公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第10項に規定する特定子会社の異動はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社UBICリスクコンサルティングを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、当第3四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第3四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額	600円37銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	445円19銭

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	675,305	2,324,253
売掛金	946,332	568,035
商品	0	229
その他	77,303	158,769
貸倒引当金	△13,264	△9,849
流動資産合計	1,685,676	3,041,439
固定資産		
有形固定資産	85,341	261,024
無形固定資産		
ソフトウェア	137,085	366,072
その他	117,098	15,574
無形固定資産合計	254,184	381,647
投資その他の資産		
投資有価証券	223,214	245,264
破産更生債権等	4,982	4,982
その他	68,394	191,072
貸倒引当金	△4,982	△4,982
投資その他の資産合計	291,608	436,337
固定資産合計	631,134	1,079,009
資産合計	2,316,811	4,120,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,080	80,437
短期借入金	—	137,500
1年内返済予定の長期借入金	141,700	136,875
未払金	147,034	120,029
未払法人税等	347,144	632,492
賞与引当金	15,336	12,130
その他	82,420	150,807
流動負債合計	806,715	1,270,272
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	211,200	212,849
長期借入金	110,000	353,125
退職給付引当金	7,221	9,275
資産除去債務	3,057	3,101
その他	5,470	18,072
固定負債合計	336,949	596,423
負債合計	1,143,665	1,866,695

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,843	496,843
資本剰余金	284,303	284,303
利益剰余金	284,319	1,308,875
自己株式	△26	△26
株主資本合計	1,065,440	2,089,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,756	127,307
為替換算調整勘定	△13,252	△12,731
その他の包括利益累計額合計	99,504	114,576
新株予約権	1,133	37,500
少数株主持分	7,067	11,680
純資産合計	1,173,145	2,253,752
負債純資産合計	2,316,811	4,120,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,480,987	3,756,085
売上原価	530,540	1,217,661
売上総利益	950,446	2,538,424
販売費及び一般管理費	474,749	676,198
営業利益	475,697	1,862,226
営業外収益		
受取利息	177	86
受取配当金	—	4,500
受取補償金	—	2,011
その他	126	416
営業外収益合計	304	7,014
営業外費用		
支払利息	6,970	4,878
社債利息	2,250	1,649
為替差損	48,263	35,590
その他	3,663	515
営業外費用合計	61,148	42,634
経常利益	414,853	1,826,606
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,106	—
特別損失合計	1,106	—
税金等調整前四半期純利益	413,746	1,826,606
法人税、住民税及び事業税	68,842	795,565
法人税等調整額	△3,323	△15,859
法人税等合計	65,519	779,706
少数株主損益調整前四半期純利益	348,227	1,046,899
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△677	2,613
四半期純利益	348,905	1,044,286

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	348,227	1,046,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,223	14,550
為替換算調整勘定	△1,711	520
その他の包括利益合計	110,511	15,071
四半期包括利益	458,739	1,061,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	459,417	1,059,357
少数株主に係る四半期包括利益	△677	2,613

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	957,776	523,210	1,480,987	—	1,480,987
セグメント間の 内部売上高又は振替高	302,630	28,890	331,520	△331,520	—
計	1,260,407	552,101	1,812,508	△331,520	1,480,987
セグメント利益	431,494	44,203	475,697	—	475,697

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,466,668	289,416	3,756,085	—	3,756,085
セグメント間の 内部売上高又は振替高	149,385	28,003	177,388	△177,388	—
計	3,616,054	317,420	3,933,474	△177,388	3,756,085
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	1,918,912	△56,686	1,862,226	—	1,862,226

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引消去になります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。